



2024年5月7日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

2024年3月期経營業績と前期経營業績との差異に関するお知らせ

2024年3月期経營業績と前期経營業績との間に上場規程に定める基準を超える乖離が生じたため、下記を開示いたします。

- 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)と2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)との差異

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

| 連結経営成績 | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 |
|-------------|--------|-------|-------|-------------------------|
| 2024年3月期(B) | 16,498 | 7,476 | 8,090 | 6,519 |
| 2023年3月期(A) | 13,360 | 5,704 | 6,289 | 4,521 |
| 増減額(B-A) | 3,137 | 1,772 | 1,801 | 1,997 |
| 増減率(%) | 23.5 | 31.1 | 28.6 | 44.2 |

当社グループの当連結会計年度末運用資産残高は、1兆8,893億円(注1)と前期末に比して25.9%増加しました。

上記の結果、当連結会計年度における残高報酬(注2)は前期比12.0%増の142億58百万円となりました。成功報酬(注3)は、前期比463.8%増の20億54百万円となり、営業収益は前期比23.5%増の164億98百万円となりました。

営業費用及び一般管理費は、前期比17.8%増の90億22百万円となりました。これは主に事務委託費が減少した一方で、公募投信の運用資産残高増加に伴う支払手数料の増加及び人件費の増加によるものです。

これらの結果、営業利益は前期比31.1%増の74億76百万円、経常利益は前期比28.6%増の80億90百万円となりました。また、投資有価証券売却益を13億35百万円計上し、法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比44.2%増の65億19百万円となりました。

(注1)当連結会計年度末(2024年3月末)の運用資産残高は速報値であります。

(注2)残高報酬には、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所等の管理報酬を含んでおります。

(注3)成功報酬には、株式運用実績から発生する報酬の他、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所スキームの組成の対価等として受ける一時的な報酬(アクイジションフィー)及び再生可能エネルギーファンドが投資する合同会社の匿名組合出資持分を売却して譲渡益が発生する場合に受領する報酬等を含んでおります。



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 経営管理部
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101